



出所：ギルバート [1995] 217.

地図 ラインハルト作戦絶滅収容所解体痕跡抹消 1943年春～11月

ポーランド（一九四二年五月～六月、一〇～二月、一九四三年三月～八月）二五万人、トレブリンカ（一九四二年七月～一九四三年八月）九〇万人であつた（永岑 [1994:109]）。

これらのいわゆる絶滅収容所（厳密にはユダヤ人収容施設ではなく単なる殺害施設）は、既述のように一九四三年から一月までに完璧に解体され証拠隠滅がなされた。敷地は自然に返された。ラインハルト作戦の三つの大量殺害施設は、一九四二年三月から一九四三年春までの局面で「中心的殺害工場」であつた。その後初めてアウシュヴィッツ・ビルケナウ（アウシュヴィッツ第二）が重要性を持った（Weitzel）。ドイツ占領下にあるスモレンスク近郊「カチンの森」でソ連によるポーランドの将校などを

大量殺害した埋葬地の発掘は、四三年二月であつた。そのソ連・スターリン主義の犯罪をゲッベルス以下の第三帝国宣伝組織が大々的に国内外に喧伝した背後で、実は第三帝国のユダヤ人大量殺害の証拠は徹底的に湮滅していたのだ。ソ連が自らの犯罪を公式に認めたのはゴルヴァチョフ時代になつてからであつた。

さらに、自動車排気ガス室により、ヘウムノ（クルムホーフ、一九四一年末～一九四二年五月、一九四二年九月～一九四三年三月）で一五万二〇〇〇人が殺害された。そしてアウシュヴィッツ・ビルケナウ（一九四一年九月、一九四二年一月～一九四四年一月）一〇〇万人、マイダネク六万～八万人（永岑 [1994:109]）。

ヒムラーは一九四二年末までにラインハルト作戦の完遂を命じていた。それはどこまで達成されたのか。

アウシュヴィッツ・ビルケナウ（アウシュヴィッツ第二）の四つのクレマトリウムがやつと稼働しはじめる四三年三月、親衛隊統計局長コーヘーアは四二年末までのヨーロッパ・ユダヤ人の「減少」に関する総括的統計を作成した。それはラインハルト作戦の遂行状況だけではなく、三三年政権掌握からのユダヤ人難民化、親衛隊保安部による計画的「対ユダヤ人闘争」開始の三七年から四二年末までの全体の総括となつていた。それによれば、①移住、②中欧東欧ユダヤ人の「死亡過多」（死者数マイナス出生数）、③「疎開」（とくにユダヤ人の数が多い東方諸地域からの「疎開」）によつて、約四〇